

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
 パリ・ヴァル・ドウ・セーヌ国立高等建築学校
 天津大学

2014 年度国際建築・都市設計ワークショップ 「都市再開発地区 (Bruneseau) における展望台の設計」

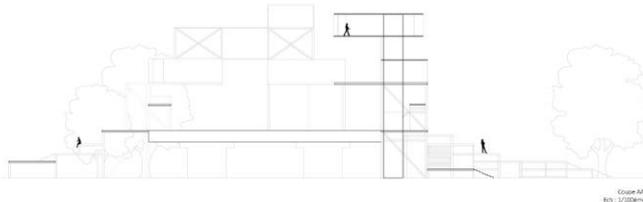
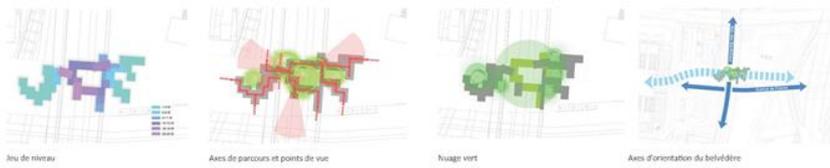


名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2014年9月22日(月)から26日(金)までの5日間、フランスのパリ・ヴァル・ドウ・セーヌ国立高等建築学校(ENSA-PVS)を主会場として、ENSA-PVS、天津大学と合同で、「都市再開発地区(Bruneseau)における展望台の設計」について調査・提案する建築・都市設計ワークショップを開催しました。実施の上では、環境学研究科研究科長裁量経費の支援を受けました。今回はENSA-PVSの大学院生・学部生26名と天津大学の学部生4名及び名古屋大学建築学コースの大学院生7名(博士前期課程1年:呉剣橋・杉浦舞・銭亀夏彦・高橋典晃・渡邊真理・劉学・Teng Oudum)の計37名が参加しました。ワークショップの指導は、Boris Weliachew 教授、Marc Dilet 教授、Corinne Tiry-Ono 教授(以上ENSA-PVS)、鄭穎副教授(天津大学)、高取千佳助教(以上名古屋大学)が行いました。本ワークショップは、異なるバックグラウンドを持つ学生同士が英語で対話し協働し、提案する貴重な機会を提供するものですが、この取り組みは、2009年4月以降、両大学の間で締結された学術交流協定に基づき実施されています。毎年4月に名大で、9月にパリでWSを行っており、ENSA-PVSでのWSは今回が5回目(名大でのWSを含めると10回目)になります。

都市再開発地区(Bruneseau)はパリ市周縁(intra-muros)のParis市とIvry市の境界に位置し、Paris Val de Seine 建築学校に隣接し、この10~12年間でパリのランドスケープを大きく変えるPARIS RIVE GAUCHEプロジェクトでの対象地となっています。本ワークショップでは、参加者は6つの国際グループに分かれ、都市再開発地区(Bruneseau)のプロジェクトについての情報提供、本地区の変化する様子や建設のプロセスを眺めるための公共の場所を提供することを目的とし、展望台(belvedere)の調査・設計提案を行いました。1日目はパリ市内の都市計画や土地利用の変遷、現在進行中の都市開発プロジェクトに関する講義を受け、現地見学に基づき課題や魅力を共有しました。2日目以降はグループ作業を行い、3日目には中間発表会、5日目の夕方には成果発表会と送別会を行いました。この間、2日目には大学内の図書館や材料ミュージアムの見学、4日目には都市プロジェクトの開発主体であるSEMAPA事務所の見学を行いました。成果発表会では、各グループの調査・提案が図面(A0版2枚)と模型によって発表されました。時間の制限はあったものの、どの提案も現在進行する開発プロジェクトに対する新たな展望台の在り方について参考になる刺激的な内容でした。ENSA-PVSの教員と学生だけでなく、SEMAPAディレクターや建築・都市デザイン関係者も来場し、意見交換が行われました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。

GREEN CLOUD



■ 概要

高架の上に、植物が雲のように浮かぶ「green cloud」を作る。コンテナを組み合わせで作られたグリーンクラウドはひとつの大きな樹木のようにも見え、高架からもよく見える新たなランドマークとなる。コンテナはそれぞれが大学、古い町並み、工場など、高さと向きを変えながら別のビューを意識して構成され、その間に植栽が配置されている。大勢のアクティビティが植物とコンテナの間から見え隠れする。人のスケールをコンテナという小さな単位で意識しながらも、大きな雲として都市の景観になじむ。

■ メンバー

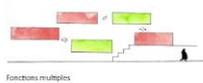
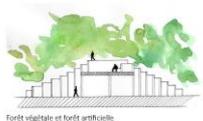
ENSA-PVS

- tan tian
- pan jiawei
- Juliette Karabetran
- Magali Chermette
- Hind Lahrichi

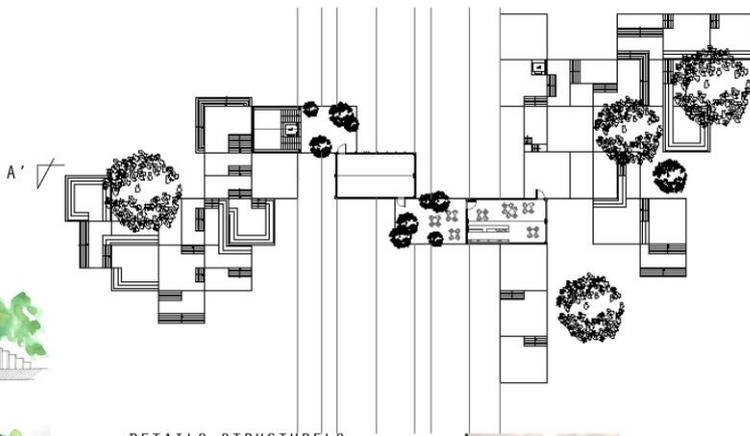
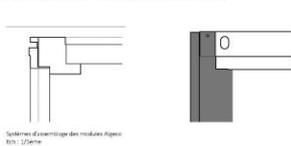
GSES-NU

- Mai Sugiura
- Jianqiao WU

PARTIS-PRIS



DETAILS STRUCTURELS



The Stepping Bridge

Site Analysis:

Case Study:

Nemo Museum

Oslo Opera House

Passerelle Simone de Beauvoir

Structure

The Stepping Bridge

A-A SECTION 1:400

+5000 PLAN 1:400

B-B SECTION 1:200

MASTER PLAN 1:1000

Concept:

We can see of the site there are highways, streets and undergrounds, notably in various levels. Our proposal is to use steps to connect spaces in different level as possible. Also, as you ascend or descend up and down the bridge, you can view the developing progress between Paris downtown and suburbs too. Therefore, we designed a balvedere where you can do not only just to view the city, but also a relaxing place with your own creating space.

Access:

We thought about the access to and from the area by train and metro, thus we designed the entrance level to the balvedere as close as possible to the station. Also, at the main point of the balvedere, we designed an elevator in response to the need of stairs and so disabled citizens.

Space Use:

We placed movable decks on some random steps to play with spaces on the bridge. Through out these movable decks, you can adjust your own desired space as you like, and use it as you want.

Sarah WILHELM, Laura BLANC, Hugo MICHIEL, Sandra TASSIN, Dilek KARASU, MOU Yoyanguang, Oudam TENG

Sarah WILHELM, Laura BLANC, Hugo MICHIEL, Sandra TASSIN, Dilek KARASU, MOU Yoyanguang, Oudam TENG

■概要

対象敷地には高速道路、歩行者用街路、地下が様々なレベルで交錯している。私たちの提案は、異なったレベルの空間を可能な限りつなげるために、階段を活用することである。また、橋を登ったり下ったりするとき、パリのダウンタウンと郊外の Ivry の間の開発プロセスを眺めることができる。それゆえに、私たちはただ都市を眺めるだけではなく、自分自身の居場所を創造し、リラックスできる展望台を設計した。

■メンバー

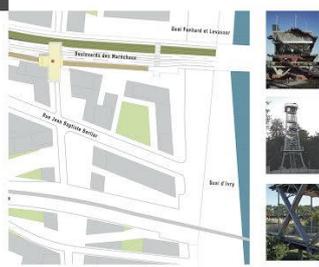
ENSA-PVS

- Sarah WILHELM
- Laura BLANC
- Hugo MICHIEL
- Sandra TASSIN

GSES-NU

- Oudam TENG
- TENGJIN Univ.
- MOU Yoyanguang

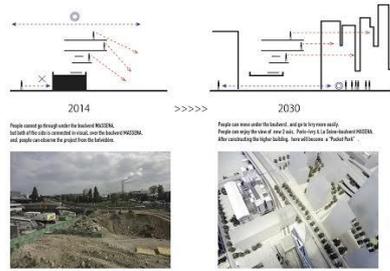
Crossing Lines



MEDEV
Meurbaider Partition
for expanded in
Rennover (2006)

Tower
Residence
in Mulhouse

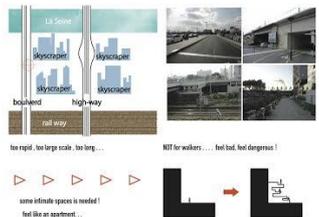
Philippe Moude
Lacite Waterhouse



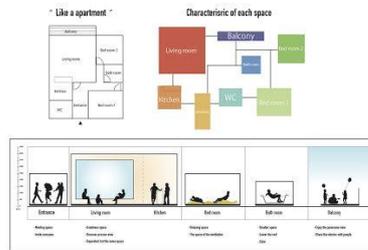
2014
People want to go through the building MEDEV,
instead of the site is wanted to be used, and the building MEDEV,
and people can observe the project from the building.

>>>>>

2030
People can see under the building, and go to the river early.
People can enjoy the view of the Seine, they can see the Seine through MEDEV,
After constructing the higher building, here will be a "Public Park".

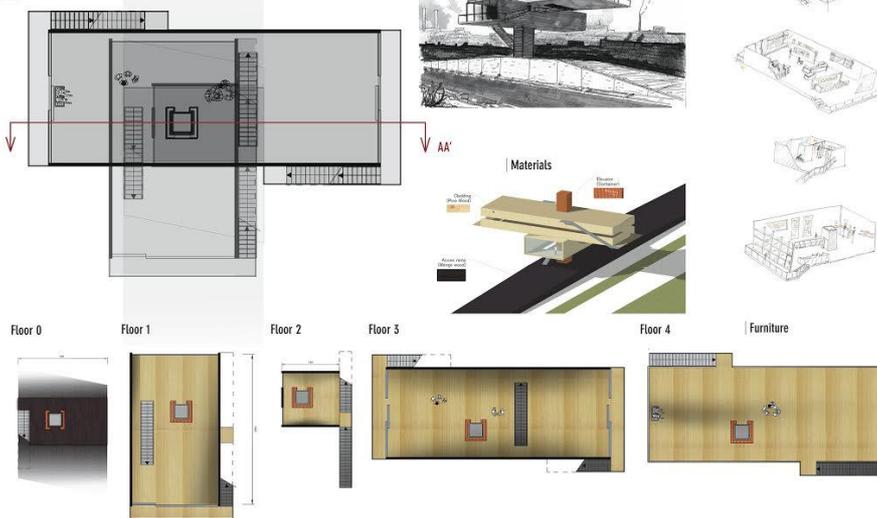


Located in a strategic position of
neighborhood Paris (the gauche), the
building project is more precisely
in North to Brasserie and he offers
a unique perspective on this place in
intense transformation. In fact, this
area links an architectural and urban
revolution between Paris and its suburb.
To enhance this relationship and highlight
the major elements of the landscape (the
Seine, the port, the railway area,
the tall building) the project is structured
around spaces that fit different important
views for understanding constructions.
In a neighborhood with intense flow, the
pedestrian wins a luminous and intimate
space when he can immerse spaces with
weaving atmospheres and where life is
good.



1.3

Crossing Lines



2.3

Crossing Lines



3.3

■概要

この地区はセーヌ川の南側に位置し、トラムや高速道路などの利便性を有したエリアであり将来は様々な高層ビルが立ち並ぶだろう。これらの大きなスケールが集積される一方で、この地区には人々が落ち着けるような、よりヒューマンスケールな場所も必要では無いかと考えた。

そこで展望台を計画する際に、リビング・ベッドルーム・バスルームといった家の構成を引用することで小さなスペースの集積として設計することを考えた。それぞれ正確の異なる部屋を積み重ねることで展望台としての機能を果たしつつも、人々がくつろぐことのできる空間を目指した。また建物構成としては、再開発後も見通しのきくように、敷地を交差する2つの道路を軸とした十字型のプランを採用した。

このように再開発が終わり展望台としての役割を果たしたあとも、人々の居場所となり、ずっと使われ続けるような展望台のあり方を考えた。

■メンバー
ENSA-PVS

- Gabriel Thomas
- Jérémy Chuon
- Laura Belin
- Chloé Guglielmoni
- Lisa Nguyen
- Manon Piquet
- Théo Dutertre

GSES-NU

-Natsuhiko Zengame

URBAN DUALITY

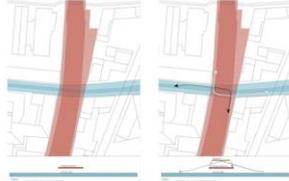
Situation on the existing terrain



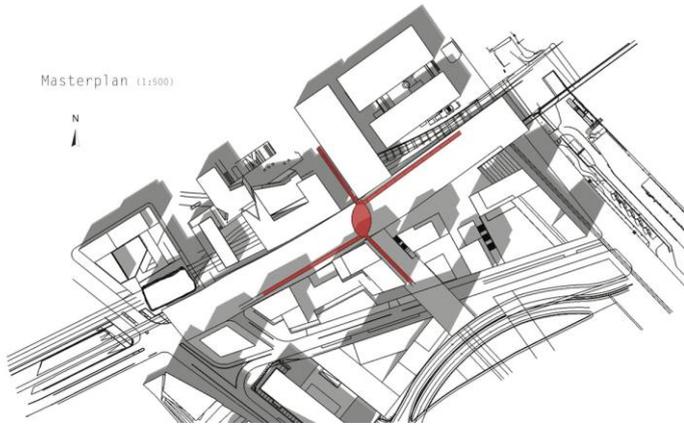
Center attract



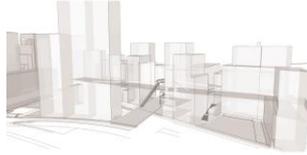
Joint



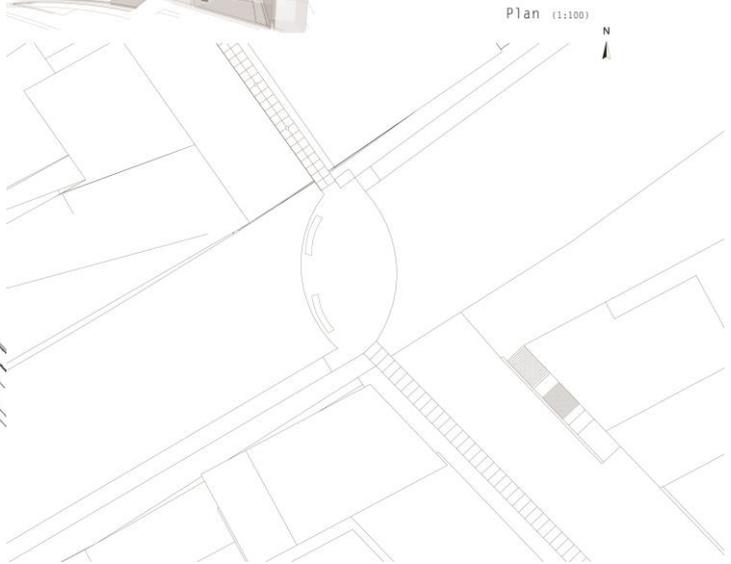
Masterplan (1:500)



Perspective



Perspective



Plan (1:100)

■概要

トラムや自動車の走る大通りと、高架下の小さな通りとの接続を考慮し、高架上と高架下を結ぶ二つの歩道橋により展望台を形作った。交通の結節点を兼ねることで、多くの人を展望台に導くことができる。

上部のデッキには再開発の情報を提供するパネルなどを設置する

■メンバー

ENSA-PVS

- Paul Rongon
- Etienne Kirsch
- Marine Laly
- Amine
- Valeria
- Emmanuelle

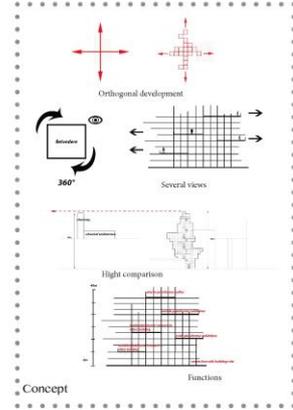
GSES-NU

- Noriaki Takahash
- Tianjin Univ.
- Shuai Lan

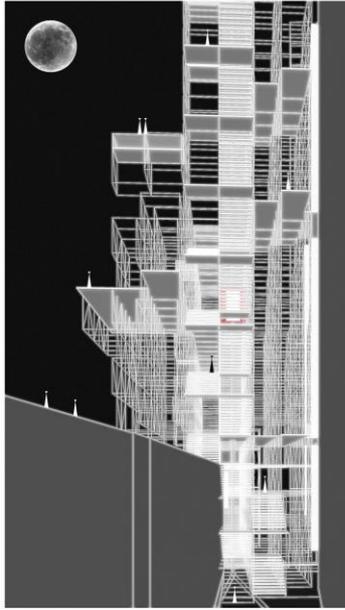
WALK In WALKING Scaffolding



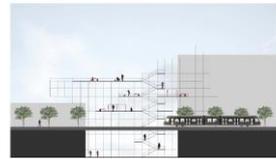
Master Plan



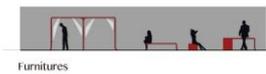
Concept



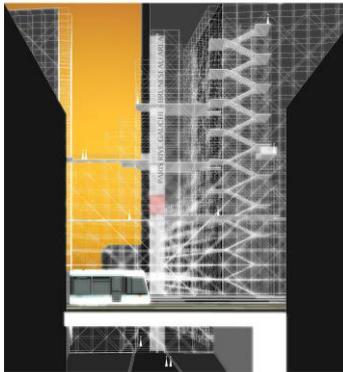
Transversal section 1:50



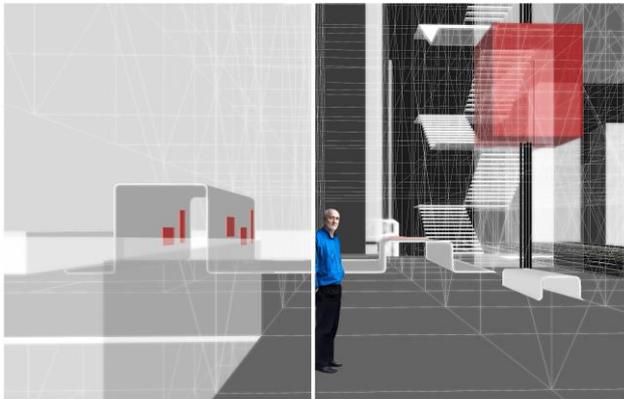
Longitudinal section 1:50



Furnitures



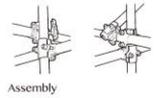
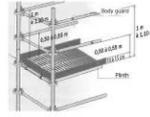
Outside view



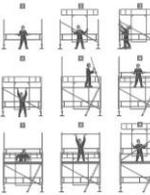
Inside view



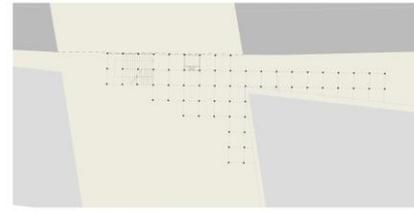
Scaffolding module



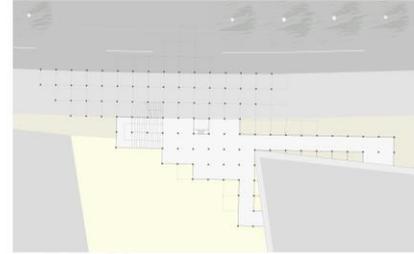
Assembly



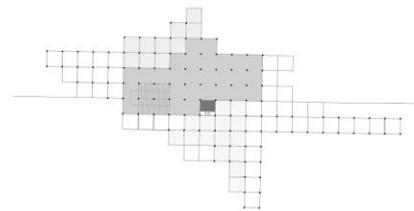
Mobile lift



Plan of the building site level



Plan of the bridge level



Example of a floor

■概要

私たちは、「取り除き可能」を重要なコンセプトとした。高速道路や、数年後に建設される対象地全体をよく把握できるように可視化し、その後解体する。つまり、これは一時的な構造である。このコンセプトに基づき、私たちは構造体の主な材料として足場を考えた。なぜなら、それは簡単に準備し分解することができるからである。そして、障害を持つ人々にとっても利用しやすいものとするために、1台のエレベーターを設置する。しかし、それは単なるエレベーターではなく、それは異なる機能（たとえば、レストランや図書館、ワークショップやショップ等）を持つ各々のプラットフォームをつなぐために用いられる。それゆえに、人々がここに来たとき、約 150 m²のエリアは、昼夜関わらず開いている。さらに、展望台の上では、人々が対象地が建設中に変わっていく様子を眺めるための公共の場所となる。展望台は、一般の人々に都市プロジェクトの魅力や対象地を眺める場所を提供する一つの要素となるだろう。す

■メンバー

ENSA-PVS

- Lea BRANCATO
- Agathe CAILLIES
- Mylene MELOT
- Romain MARTIN
- Irene APRA

GSES-NU

- Xue LIU

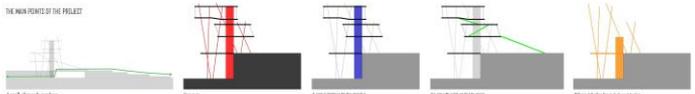
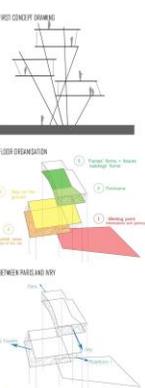
TIANGJIN Univ.

- Xinye SUN

TEAM F A Meeting Point between Paris and Ivry

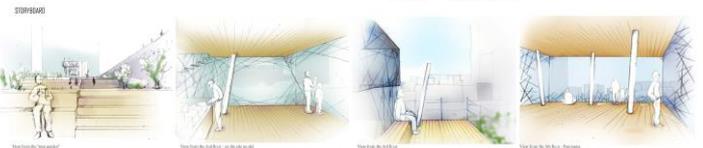
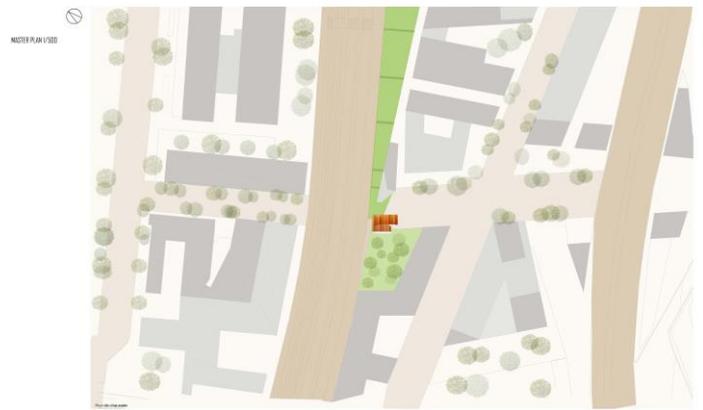
BELVEDERE

A meeting point between Paris and Ivry



■ 概要

私たちは高低差のあるブリッジとペDESTリアンデッキをつなぎ、ブリッジのトラムや歩道・ペDESTリアンデッキ・セーヌ川側の公園の人が出会う、meeting pointとなる展望台を設計しました。
また、この敷地は Paris・Ivry・再開発地区と方向で見える景色が異なるため、床の形やワイヤーの疎密を変えることで、方向によって異なる景色を楽しめるようデザインしました。展望台の上り方を複数設け、展望台を上りながらも様々な景色を楽しめるようになっています。



■ メンバー

ENSA-PVS
-Lise Bernard
-Arnaud Sawadogo
-Elise Monceaux
-Nina Aulagnier
-Marina Youssif

GSES-NU
-Mari Watanabe

TIANGJIN Univ.
-Kaixiang Zhang

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10名、GSES-NU 大学院生 40名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12名、GSES-NU 大学院生 36名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30名、GSES-NU 大学院生 4名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18名、米国カンザス大学大学院生 10名、GSES-NU 大学院生 5名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9名、テルアビブ大学学生 9名、GSES-NU 大学院生 27名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18名、GSES-NU 大学院生 4名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13名、GSES-NU 大学院生 17名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15名、GSES-NU 大学院生 5名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>>

2014年4月：GSES-NU/ENSA-PV/ TIANGJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13名、GSES-NU 大学院生 21名、天津大学 1名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2014年9月：GSES-NU/ENSA-PV/ TIANGJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 26名、GSES-NU 大学院生 7名、天津大学 4名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html>>

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。



NAGOYA
UNIVERSITY

PARIS
VAL DE
SEINE
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE
D'ARCHITECTURE